婦人新報

大會號

第貳百七拾參號目次

基督教婦人矯風會

No. 273 May, 1920

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS

FUJIN SHIMPO OFFICE.
No. 46, Sanchome, Shinmachi, Akasaka,
Tokyo, Japan.

社告

□婦人新報定價(郵稅共)
一年分(前金) 金壹圓八十錢
半年分(前金) 金九拾錢也
一ケ月分(前金) 金拾五錢也
(郵劵代用一割增)

□廣告料
一行(五號活字) 金參拾錢也
一頁 金五圓也
半頁 金參圓也
四分ノ一頁 金貳圓也

振替口座東京三二四六九
編輯及事務所 婦人矯風會本部

大正九年五月十四日印刷
大正九年五月十五日發行
發行兼印刷人 矢島楫
編輯人 守屋東
發行所 婦人新報社
東京赤坂區新町三丁目四十六番地 婦人矯風會事務所
印刷所 東京京橋區銀座四丁目 福音印刷株式會社

日本婦人と基督教

ウヰルミナ女學校教頭　西野貞子

ある外國婦人が「日本の婦人は色のない生活をしてゐる。一般に教育が無いから趣味がなく、隨つて友もなく社會もなく、又世界もない。彼等には最愛の夫ですら友とはなつてゐないと」申しましたが、此には異論を挾む事の出來ない程に、日本の婦人は歐米の人々に立ち後れてゐるやうに思はれます。

先般巴里に開かれた平和會議に五大國中の代表として列した日本の代員は默つてゐたとある人が申しました。新聞は語が不自由だからだと申しますが、然し更に大きな理由は、基督教が解されてゐなかつたと言ふ事になると思ふのであります。隨つて基督教の精神が根本になつてゐる平和會議を理解する事が出來なかつたのであります。婦人問題、勞働問題等は申す迄もなく、民族の發達、人類の幸福のためになさるゝ大なる活動の根底には、尊い基督教の精神が流れてゐるのであります。

□キリスト教は人を新にす

人の老若は年齡によらず、其人の頭腦で判斷されなければなりませぬ。青年であつても二十年或は百年前の舊道徳を云々するやうな人もあります。又年老いても、自ら老體を提げて、日本婦人を代表して遙々英國迄も出て行かれた矢島先生のやうな健氣な婦人もあります。基督教は斯の如き婦人を造り、又彼女に新生命を與へたのであります。人は誰も、神を信ずる時、眞の神の造り給ふた眞理を知りたいといふ切なる求知心に燃やされます。故に老ふる事を知らないのであります。

基督教は理性、及び知識を重んじます。故に此宗教

の行はるゝ處教育が進歩し、又道德、知識を進歩せしむるのであります。

外國の婦人は何故に尊敬さるゝかと申しますれば、それはとりもなほさず、基督教を信ずる事によつて内的生命を一新するからであります。ハウストン夫人は、夫をして「私は妻によつて怖るべき誘惑の手から救はれたのです。私は妻に見せて恥しいと思ふやうな場所へは決して行かないのですから、御免を蒙ります」と、ある友人の誘ひに對して叫ばせた程に品性の優れた婦人でありました。此世の權力よりも寶よりも優れた品性の持主でありました。

□信仰ある母の感化

ある小學校のある級で、ある時一人の良くない生徒が教師に罰せられなければならない事がございました。先生が全級の生徒に此子供を罰するが皆さんはいゝですかと尋ねられた時、五十人計ゐた生徒は只一名を除く外凡て手を擧げました。

先生は其手を擧げなかつた生徒に向つて「君はどうして手を擧げないんですか」と尋ねました。其生徒は直に答へました「私のお母さんは、義しい事のためにはどんな苦しい事でもせよといつも言ひ聞かせました。先生、どうぞ其人を罰する代りに私を罰して下さい。」と申しました。此少年の心には基督教を信ずる母親の如何にも立派な精神が吹込まれてゐたのであります。其少年は哀れな一人の同級生の罪のために其美しい心根を表したのであります。此健氣な少年の所爲は直に校長の耳に入りました。校長は斯くも立派な少年のある事又多くの修身の話に優る生きた手本と、其美しい感化を何にもまして喜び、其少年の母親にも心の底より感謝されたのでありました。此少年の父親は教會の日曜學校に行く事を快しとしませんでしたけれ共、母親は常に日曜學校に於て其愛する子供の宗教的教育をしてゐたのでありました。

□健げなる信仰の兒

又もう一つの最近の實例を擧げますと、ある九つになる少年がありました。其父親は非常な飲酒家で、いつも家庭に不安を與へてゐました。其少年は又いつも、日曜學校で酒害に就て教へられますので、父の飲んでゐるのを見ると「お父さん、お酒を飲むと命がなくなりますよ。お酒を飲むと死ぬからどうぞ止して下さい」と嘆願するのでした。ある日の事、父は其子に「酣德利を持つて來い」と命じました。やがて熱くして德利

を父の前に持つて來ました。さうして恐る〳〵父の前に置いて、罰せらるゝのを待つかの如く、默つてうつむいて居りました。父は早速それを呑みました、所が豈計らんや、それは酒にあらずして熱くされた白湯でした。此時、父は愕然として悟つたのでありました。さうして、「たとひ打たれても叱られても親の爲めだと思ふ切なる孝心を知つては、再び杯を手にする氣にはなれませんでした。」と父親は私に語りました。たとへそれが自分の子供であつても、基督教で養はれた人格の前には服せずには居られなかつたのであります。

嗚、如何に大なる多くの婦人を基督教は出したる哉と叫ばないではゐられない程に、昔から現代に至る迄人のため社會のために盡した多くの偉大な婦人賢明な母を基督教は出しました。又美しい孝心を抱き、義しき事のためには如何なる苦しみも忍ぶ雄々しくも美しい心の持主を、現今の社會に於ても造りつゝあります。此等の點のみより見るも基督教は、ある人が議會に於て質問したやうに國體に對して危險なものでもなく又排斥すべきものでもなく實に立派な、新生命を與ふる宗教であります。

□基督教の精神による

現今しきりに叫ばるゝ社會改造も其根本に基督教無くば、どうして眞實の改造が出來ませうか。又世界に於ては種々立派な働きがされつゝありますが、若し其根底となつてゐる基督教を除いては內容のないものとなります。婦人矯風會は基督教の精神に基いて、日本を救はなければならぬ、同胞の幸福のために盡さなければならぬといふ心で、たとひ社會に認められずとも、熱心に働いて居ります。即ち基督の「受くよりも與ふるは幸なり」との精神に基いてゐるのであります。然し、若し、此矯風會から基督教を除いたならば、果してどれだけの根氣ある奉仕の働が出來ませうか。吾國には服從はありますが、奉仕は基督教が無ければ出來ないものであります。吾國には三十萬の癩病患者があります。さうして病院は十ありますが其中の五つは基督教國の婦人が來てしてゐるのであります。日本の所謂愛國者が顧みない癩人病のために働く人々は、何れも基督の靈によつてしてゐるのであります。日本の未だ基督教を知られぬ婦人方が矯風會に入つて基督教の何たるを知られ、眞に色ある婦人の生活に進まるゝやう切望いたします。（大會第二日、公開演說會に於ける講演の概略）

女學校改造論

同志社女學校教授　松田道子

從來吾國に於て、女學校教育の標語とされて來た「賢母良妻」は、餘りに濫用されたために、眞の意味が解されず、面白からぬ結果を齎して居ります。女學校は、小學校を卒業したばかりの十四五の少女が入學します、彼等は乙女時代の華やかな生活を享樂しやうとする先に、妻が何であるかさへ未だよく判らぬ頭にいきなり「賢母良妻」をつめ込まれるのであつて、其年配を考へると、果して此思想を吹き込む事が良い事だらうかといふ疑問を起さないでは居られません。殊に、普通大抵の女學校の男教師には、婦人の眞生命とすべきものゝ何たるかを眞面目に考へ高尚なる考へを持つてゐる人は少く、戰爭後の世界の狀態や、婦人の有樣をも知つてゐる人は少いのでありますから、かゝる教師によつて如何に「賢母良妻」が繰返へされても何の効果もないわけであります。

□人生の大事は

リチャードラバー氏は"The World Tomorrow"の九月號に「民衆」といふ一文を寄せて、彼がある州の古い墓地を訪れた時の事を書いて、その墓地は餘程古いので、雜草は思ふまゝに茂り、あちらこちらにある墳墓も其名を讀む事が出來なかつた中に、只一つの石碑を見分ける事が出來た。それは南北戰爭の第一年に生れると間もなく死んだ赤ん坊の墓であつた。米國の全土は戰ひのために騷いでゐる時、ある村では一人の子供が生れて而も直に死んで行つた。而も其事は此子供の一家の人々のみが知るに過ぎなかつたのである。華華しい活動の舞臺に起つ事よりも、人生の大事な事は生命の聯續ではないか。華々しい行爲よりも一貫した

思想ではないか。今や大戰は終り、巴里では媾和會議が開かれてゐる。けれ共巴里の媾和會議のやうなものが世界で一體重要なのであらうか。何十萬、何百萬の人々が每日饑餓のために死んでゆくのではないか。母や子は食するに物なく、生命は日々に死してゆくではないか。

一體歷史といふものは吾等を詐くのではないか。何國の範圖が大きくなつた、海上權をどうして取つた、米國はモンロー主義をどういふ風にやつてゐる等を敎へて吳れる。然し大事な事は、人間が存在してその生命を時代から時代に移して行く事で、外觀的のものから更に內省的のものにしてゆく事が大切である。と言つてゐます。

過る五年間の大戰で、種々の政治問題、勞働問題等が起ると共に、婦人問題が大きな頭角を擧げたのであります。社會の半數を占むる婦人は、虐げられた永い永い忍耐から起つて眞理の前に審判を待つの時に到達しました。さうして戰後の思想界は戰前のそれに比して非常に進步しました。

□個人の生命を重ぜよ

斯る時代にありながら、何故婦人のみが徒らに舊思想を遵奉しなければならないのでありませうか。女學校に於て敎育の標語とする「賢母良妻」は、其純粹の意味に於ては尊ぶべきものでありながら、實は非常に無意味なものとなつてゐるのであります。所謂「良妻賢母」といふ事は、婦人は單に妻となるべきもの、家庭にあつては是々の仕事をしなければならぬといふやうに職業化されてゐるのであります。

それ故に此を如何に改造すべきかと申しますれば、現今の敎育にあつては職業的な婦人を造るのでなく、規則に束縛するのでなく、敎師に對する生徒でなく、此處に三百人の生徒を有する學校があれば、その一人一人の生命を重んじて其個性を生かすやうにしなければならないのであります、此が敎育に對する時代の要求であると思ふのであります。

過般大阪に於て女學生が卒業式の歸途何者かに殺さ

れたといふ事件がありましたが、此に似た事件は澤山あります。然し多くの場合、斯樣な問題が起ると、「學校の不名譽である」といふ考へが直に敎師の頭に浮ぶのであつて、如何すれば本人のためになり、本人を生かす事が出來るかといふやうな事は考へられず、只問題を漠然としてしまふ方針を取るのであります。此樣な事は、大切な女學生を預つて敎育してゐる根本の問題から見て、實に嘆かはしい事であります。此は取りも直さず、生徒各個人の生命を重んぜず、女學校の敎育に對する思想が一般に淺薄であるから起るのであります。男子の敎師には、大切な生徒の生命のため名譽のためには決鬪を挑む程の勇氣があつて欲しいものであります。

□大なる感激は人を造る

たとひ種々の設備が整ひ、敎師が多く揃つても、其學校に充つる空氣が淺薄なものであるならば、生徒は幸福ではありません、世には偉い人物が多いのでありますが、完備した立派な學校に育てられ、又幸福な境遇にあつた人々かと言ふに、さうでもないやうであります。

英國の詩人として有名なコレッヂの家庭の事を讀んでみますと、彼は貧しい牧師の家に生れ、十三人兄弟の末子でした。六つで小學校に入つてからは手あたり次第に讀書に耽り、ある時などは、讀んだお伽噺に非常に感動して夜中うなされたりしましたので、父は其本を破つて棄てました。然し少年コレッヂは却つて益々瞑想家となり、終に斯くばかり偉大な詩人として世界に知らるゝに至つたのであります。彼が偉くなつたのはある時ある事に大に感激したからでありました。又彼が九つにして入學したロンドンの學校生活では、七百人の生徒の中に友もなく、淋しく、幸福に思はれなかつた中に、ラムとの深い交りが結ばれて、彼の文學的生活は更に濃厚になつたのでありました。つまり人はある。べつな境遇によつて進歩するものでなく、ある書物、又は天然、或は友情に感激する事によつて人格の發展をする事が出來ます。自分の心のどん底迄

も知つてくれる人にある場合に觸れる事が大切であります。

□如何に改造すべきか

キリストは何故キリストであるかといへば、人は安息日よりも尊いものであるから、若し哀れな人があればたとひ安息日であつても、救はねばならないと言はれた處にあります。キリストは、パリサイ人やサドカイの人々の嘲笑を受け流してマタイの招きにも應ぜられたのであつて、人の心に觸れる事をされたのでありました。ある時は子供等を集めて膝に抱き、又モーセの律法に從つて石にて打ち殺すべきやと敦圍いて罪ある女を引き出して來た人々に對しては、默して地上に文字を書き、哀れな婦人のために辯護し給ひ、婦人を諭して行かせ給ふたのでありました。

昨年のアメリカに於ける女學校の標語の中には健康價値ある家族の一人、價値ある市民といふ事等があります。吾國に於ても女學校の教育方針が、社會、世界に伴つて進歩し、學校の名譽のために生徒を奴隷とする事なく、個人〳〵の靈を生かして行く所に到達しなければならないのであります。そうして、理想的根本的な教育をするには、女は女それ自身を知つてゐるのでありますから、男子よりも、更に多くの有力な女教師が入らなければなりませぬ。

而して、眞の良妻賢母の意味を惡化し、職業化し方便化する事なく、婦人が大に覺醒して、思想や或は流行の中心は女學校にあるといふ處迄行く意氣込みがあつて然るべきだと思はれます。而して世界を神のホームとする事が出來るならば私共の女學校の改造は遂せらるゝと思ふのであります。(四月六日―大會第二日―横濱記念會館に於ける演説の概畧。)

□□謹告!!

一、婦人新報値上―

紙、印刷其他暴騰の爲全く收支がやりきれませんでした。本年の大會で壹部十五錢に値上!可决　年額壹圓八拾錢!

一、四、五月號合併―

大會號として四、五兩月號を合併しました。

一、郵便局

本會宛の郵便物は凡て赤坂出町三ノ九、赤坂郵便局を經てゐります　爲替其他は凡て以上の局あてに願上ます、!

鹿島丸船上の矢島會頭

鹿嶋丸婦人監督　廣田八重子

私は只今日本郵船の婦人監督として時々米國航路に乘組み、婦人乘客の爲にお世話を致して居ります、今度矢島先生の御渡英について、日本郵船の鹿島丸に御乘船なさると伺ひました時、非常にうれしく存じました、私は婦人矯風會の會員の一人として今日まで過して參りましたが、未だ矢島會頭に親しくお話した事がありませんでした、どうか會頭の人格に接したいと願つて居りました、其好機會に出合ひましたのでございます、御同行のガントレット夫人は、山口時代の先生でございますし、渡瀬夫人は初めてゞございますが御年配といひまた御經驗といひ先輩でございますから、私は會頭御乘船後は、私として出來る丈の力を盡して御世話を申上やうと心にきめて居りました、十數日の鹿島丸上の會頭の御日常は、實に私に偉大な感化と敎訓とを與へられました、私は深い感謝と喜びとを以て私の心に映りました處を順を追ふて申上て見ませう。

○チャンとお髮上げ

三月十三日に船は横濱を出ました後、會頭は少しも船に醉ふといふやうな事はいらつしやいませんでした、二日迄は他のお二人に御同情なさいまして食堂にお出ましになりませんでした、私は常の航海より氣も引きしまつて服裝、髮の結ひやうまでに氣を付けました。朝六時すぎに先生のお室を叩きますと、いつも必ずチャンとお髮を上げていらつしやいます、そして七時には必ずお湯をお召しになりました、私は先生のお許を得ましてお湯殿に入りました、そしてお流ししたりお世話申上ますと、「あなたは此船の婦人監督でいらつしやる、權利のある御婦人です」と私をたてゝ下

さいます、けれども私は先生の人格に接するのが此上もない光榮と存じて居りますので何と仰つしやつて下さつても出來る丈は致しました、お湯のあとマッサーヂをして差し上ました、時には御同船の廣瀬夫人もお見えになつて御一緒に致して差上ました、非常にお喜びになりました。

□矢島楫子存在の證

三日目から先生は「私は食堂に出ます！」と仰つしやいまして以後一回もお缺しになつた事はありませんでした、お召にはいつも徽章をチャンとおつけになります、船醉で弱つていらしたガントレット夫人に「大丈夫行けますよ！」と言つて食堂に行く事をお促しになりました、夫人もまた渡瀬夫人も食堂にお出になるやうになりました、事務長初め人々が先生に御揮毫を願ひました、先生は海の靜かな日に書きませうと仰つしやいまして、丁度シャトルにつく三日程前非常に穩やかな時、事務長の室で御揮毫になりました、事務長は松に鶴の畫絹を出して「お年とお名とを」と願はれました「これは鶴が主のやうですねー」と先生は仰つしやいまして、一寸瞑目なさいましたが、すら〳〵とお認めになつたのは

「千年經る鶴の齡にくらべては
　八十路は年のふた葉なるらん」
　　　　矢島楫子存在の證

といふのです。一同只もうアット申ました。ほんとに先生の御心が思はれます、多くの人達の求に應じ其人々に適したものを下さいました。先生御一行の為に日本料理のおもてなしがありました、先生は御親切を受けると仰つしやつて一つ〳〵皿のものを召しあがりました。

□會旗は社交室に輝く

或る日先生と服部博士とに御講演を願ひました、先生は私に、講演者が手を引かれて室から行くのもあんまり感心しませんからと仰つしやつて、事務長から私が借りて參りました杖をついて社交室にお出になりました、一時間餘矯風會に就てまた今度大會に出席する

目的についてお話になりました、五錢袋を一同に御配付になりました、一等船客丈でございましたが、三十九袋入りました、此内ボーイさんが二人ぜひ私共にも入れさせて頂きたいと申出ました、小さい事のやうにございますが此事は大きい喜びでございます、先生が船にお乗り下さいました爲、鹿島丸が私の氣のせいでなく引きしまつたやうに思へました、先生のお部室に飾つてあつた矯風會の旗は船長の願によつて、少年禁酒軍の旗と一緒に社交室に飾られました、先生と此旗とはほんとに大きな羅針盤でございました、矯風會の會頭がお乘船になつて居るといふ事は三等船客のすみ〳〵まで大きな光を輝しました、私は實に先生について人々にお話する事を光榮に存じて居ました、お年寄と思ふた先生が一番御元氣で規則正しい其御生活には人々は實に恐れ入りました。大かたはお部室と寢臺にいらつしやいますが三度の食事とお湯とにはキチンキチンとお出ましになります、時々散歩にもお出になりましたが、隨分寒さが强うございましたのでお止めになりました、夕かたはお部室で讃美歌を歌ひ集りを致しました。

口光榮と喜ぶ鈴木夫妻

いよ〳〵あしたは船がつくといふ日、お名殘だから仰つしやつて甲板に出て、ガントレット夫人と私とが兩方のお手をとりまして、三邊甲板を走つて廻りました、私など息を切らしましたが先生は平氣でいらつしやいました、シャトルに着きました時には領事初め郵船の支店長、新聞社長の有馬さんなどお出迎になりました、御休養の出來るやうに私の友人で郊外で齒科醫をなさる鈴木御夫妻に、御一行のお宿を無線電信でお願しておきましたので岡崎牧師と共にお迎へ下さいました、早速に自働車で其方にお出になりました、鈴木御夫妻は光榮とよろこんで實によく御一行を接待して下さいました。其夜はお風呂を召して遲くおやすみになりましたが、次の日（三月廿七日）午前九時四十分シャトル發のシカゴミルオーキ線で御出發になりました、汽車も特別室が用意されてありました、お三人

が凡ての用が便する此特別室で御出發になりました時私は職務上お送りする事は出來ませんでした、然し鈴木さん御夫妻を初め四十人餘の方が送られたそうでございます、其中にシャトルの米國婦風會員も七八名あつたと伺ひました、御出發前、天野寫眞館主は先生を御寫し致しました、實によく柔和な先生が出てゐます、新聞は先生の記事に滿ちて居ました。

□偉大なる教訓

私が十數日先生のお側に在つて受けた教訓は實に大きなものでございます、船員等も非常な光に浴したと申て居られました、私は

一、今後決して年寄つたといふ事を言ふまいと思ひました、老てます〳〵盛な先生を拜見して。

二、規則正しい生活は人に良い感じを與へる。

三、無言の内に實行家でいらつしやるから先生の前に出ると自然に頭が下がる。

四、凡てに亘つて節制。

いろ〳〵ありますがほんとに表しきれぬ賜を得ました、シカゴからガントレツト夫人の御手紙によつて、先生のお孫さんの鵜飼きよ子さん（鵜飼牧師令孃）が先生のお供をなさるやうになつたとありました。

時間を守る事を船の上でシミ〳〵とお話になつた時「大會は戰場のやうに忙しいのですから、少しも油斷は出來ません、一分でも集會に遲れる事は恥ですから、私は其事を今から案じて居ます、時間を守る爲に規則正しく習慣をつける事は大切な事です」と仰つしやいました、其通り實行してお出になるのです、繰り返し私は先生の人格に接した事を感謝するものでございます。

會頭御一行の消息を知りたいと思ひましても如何ともすることも出來ずに居ました、丁度廣田姉が鹿島丸でお歸りになりましたので、五月の常務員會の時お出を願つて此お話を伺ひました、皆は同姉が御心勞下さつて會頭一行の爲にお盡し下さつた事を感謝した次第であります。

東

三階部屋の消滅

村岡花子譯

（ミセス・シャープ再び登場、土瓶を下げて居る。それを卓の上に置き、衣嚢から鍵を出して棚を開けてウヰスキーの瓶を出し、之に土瓶の茶を注ぎ始める。其の手を息めて、ウヰスキー瓶の方の色を眺めて居る時に蠟燭のすり替へられてゐるのに氣が附く。瓶を置いて、ピアノの方に近寄り、猶よく調べる。蠟燭は確かに變つて居る。手に持つた儘で立つて居る所へスタシアが茶道具を運んで來る。）

シャ「誰だい、此處へ入つたのは？」

ス「誰も來やしません」

シャ「好い加減な虛言を御つきでないよ」

ス「誰が虛言をつきました？誰でも彼でも自分と同じやうな人間だと思つてるんだから、堪りつこはありやしない。口を開きやあ虛言だと言ふんだから――」

シャ「誰か入つたに違ひないんだよ。蠟燭が自然に取り替りやしまいし……私や――」

（ミス・カイト登場。最前の外套と帽子は取つて居る。一寸沈默が續く）シャ「ミス・カイト、貴孃は御知りなさるまいね、誰か此處へ忍び込んで、蠟燭を盜んで行きましたんですよ」

カ「盜んだんですつて！」

シャ「そりや私の言ひ過ぎでした。「すり替へ」ですね、成程、すり替へと泥棒たあ違ひますね。」（急に腹立だしさうな聲音に變る）六寸位の長さの奴を持つて、こんな燃え殘りを置いてきやがつて」（元のやうに蠟燭立てに差し乍ら）此の家はよく〳〵結構なお方々ばつかりのお住ひと見えらあ」

カ（蓋のしてないウヰスキー瓶は一目見れば大體察しが附くので、意味ありげに香を嗅ぎ乍ら）「正直な話が、全く少々胡亂な人間達が居ますわね」

シャ（忌々しさうに瓶を仕舞ふ。スタシアに向つて）「何だつてそん

な所にニャ〳〵して居るのさ。靴下が落ちて來るじやないか、引張り上げといて、さつさとお茶の鈴でも鳴らしたらどうだい。」（斯う言つて、冷くなつた土瓶を渡す。スタシアは出て行く。鈴の音がする。耳が裂けさうな、滅相なやかましい音）

カ「二人つきりの話ですがね、事に依るとあの娘かも知れませんよ。つい此の間、私が現に見たんですがね――」（言ひ掛けた處へトムキンス小佐夫人登場。小肥りな身綺麗な女、四十五才で、髪は白髮）「オヤ、御機嫌よう！トムキンスさん」

（トムキンス夫人とシャープ夫人も挨拶を交換する。一同座に就く）

カ「少佐は御機嫌ですか？何だか今朝は少し弱つていらしつたやうでしたわね」

ト「何時だつてあゝですよ――他人の會計で御馳走を頂いて來た時にはね（笑ふ）どんな事があつたつて、食べ過ぎずにや居られないんですよ」

カ「御可愛想にね！御馳走が口に入る事は稀多に無いんですからね。こりや冗談ですよ、此處の內儀樣はそんなけちんぼぢやありやしませんからね」（肩をすぼめて笑ふ）

シャ「食物は充分にするつて、私や何時も廣告したんですよ、充分にし度いとは始終考へてますがね。お客樣達が財布の口を閉めちまつて、てんで開けないんぢや、御馳走も出や――」

カ「アッ、餘り乳を入れないやうにね」

シャ（牛乳を調べながら）「少し薄いやうですね。之ぢや仕樣がない――乳屋を變へなけりや――」

カ「商賣人位盗人根性の勝つた者はありやしませんよ（トムキンス夫人と目交ぜをする）ドーレイ夫人ぢやなかつた――デ、フーレイ夫人は御出ましにならないんでしやうかね？」

ト「男爵のお從妹樣のお相手にや私達のやうな者ぢや駄目なんでしやうよ」（笑ふ）

カ「然うかも知れませんね。だけど芋屋の後家さんの相手なら私共だつて結構務まりますよ。こりや全くの話なんですよ。實に酷いんですからね！現在自分の妹

が、自分の甥や姪が饑死しさうつていふ瀬戸際迄行つてるのにさ、全くの饑死をしようつていふ有様なんですよ、それを、どうでせう——」

(デ、フーレイ夫人登場。大柄な、弱々しさうな、顔色の悪るい女。貴族によくある、懶げな調子で話す。ミセス・シャープは叱つて言つて、今迄の話を止める)

「丁度御噂をして居たんですのよ。今日は出ておらつしやらないのかと思ひましたわ。オヤ、喪服を召してらつしやるのは如何した理由ですの？もう御脱ぎになつたのかと思つてましたのに。又御不幸でも御ありでしたの？」

(ミセス・シャープは立上つて、鈴を鳴らす)

ト「まさか御従兄様の男爵ぢやないでせうね？」

デ(腰を下し乍ら)「オーブルスの女王陛下なんですの」

カ(他の人々に目配ばせをして)「朝廷に出入りするのは随分お金の掛る事でせうね？然う御感じになりませんか」

デ「そりや、まるであなた方には察しも附きなさりやしますまいよ。全く時々は平民に生れたらよかつたと思ふ事もありますよ」

(広場から独逸人の楽隊の音が聞えて来る)

ト「一寸御聴きなさいましよ」

カ「少うし窓を開けませうか？霧は晴れましてよ。開けた方がよく聞えるでせう」(半分立ち掛ける)

(スタシヤが湯を持つて入つて来る)

シャ「お止しなさいましよ。貴婦人を見ると金をせびりますからね。スタシア、お前、窓を少うし丈け開けて御覧」

ス「二銭ぽつちの金ですもの、遣つて、ちやんと聴いた方が気持が好いぢやありませんか。一曲が唯一銭ですよ」

シャ「愚図々々言つてないで、言附けられた通りにしたら可いんだよ」

ス(窓際へ行つて、すつかり開け放して、大きな聲で言ふ)「しつかりお弾き。皆聴いてるからね」

シャ「此畜生！」(スタシアはせゝら笑ひ乍ら出て行く)

ト「何だつてあんな娘を置いとくんです？」

オ「ありやヲルワースの監獄から出た娘なんぢやないんですか?」
シャ「感化院ですよ」
カ「然う〳〵、私の思違ひでした。つい先達あそこの取締に逢ひましたがね、随分な代物ですつてね。何しろ母親つていふのは――まあ止しときませう――(笑ふ)廉く使つてるんでせうね?」
シャ「良くさへなりや、それでいゝぢやありませんか。廉く使ふつて言つたつて――此の節の物價の高い時に――蠟燭なんぞの高い事つたら――」
ト「何しろあんな娘にうろ〳〵されてた日にや堪りませんよ」
デ「かうやつて紳士や淑女の泊つて居る所なんですからね――」
カ「それに若いお孃樣方だつて居ますしね(トムキンス夫人に)然う言へばお孃さんはライト樣と御約婚が出來たつて事實ですの?」
ト「さあ…未だ定つたといふ程でもありませんがね」
カ「何卒旨く行けばよござんすわね。お孃さんの御苦心つて言つたら並大抵の事ぢやなかつたんですもの、あれで駄目だなんて言ふんだつたら御可愛想ですよ」
ト「いくら塗り立てゝも一向人の氣を引かない顏もありますがね、仕合と家のあの娘は――」(樂隊の金さりが窓際に表れる。棒の先に袋を附けて突き出す)
金「へイどうぞ樂隊のお代を願ひます」
シャ「煩いよ、乞食なんぞに用はないや」
金「樂隊を御聽きになつたお代ですよ」
カ「煩い男だね!」
シャ「異人なんぞに用はないよ」
金「どうぞお早く願ひます」
シャ「巡査を呼ぶよ」
金「豚女奴!」(ミセス・シャープは立上つて、窓をピシャリと下す)
カ「何ていふ事でせう!豚ですとさ!」
デ「達者に美語を使ひますのね」(ミセス・シャープは元の座

に戻つて）シヤ「お茶をもう一杯召上るでせう？」
（トムキンス夫人は席を立つて居る。ミス・カイトの毒口で未だ立腹の體）「有難う。一寸用事がありますから、お先に失禮しますよ」

カ「今私がピリアンの事を言つたのは冗談ですから、氣に掛けないで下さいましね」

ト「エヽ／＼、御冗談に仰つたのなら、構ひませんわ——」

シヤ「ほんたうにもう召上らないんですか？」

ト「エヽ、もうほんたうに結構。實はね、うちの爺さんが歸るのを待受けてやり度いんですの、昨夜言はなかつた小言が殘つてますからね」（笑ふ）

カ（一緒に笑ひ乍ら）「あなたに逢つちや、中々胡魔化せますまいね」

ト「何しろ私が彼奴の事をどんな風に考へてるかは承知して居るらしいですよ」（笑ひ乍ら上機嫌で退場）

デ「氣の毒なお爺さんですわね。獸みたいな人間には違ひないけれど」

カ「何、中々負けてやしないんですよ」

シヤ「あゝして兎も角も一緒に住んでるのが私にや不思議で堪りませんよ。だつて朝起きてから夜床に入る迄、まるで犬と猿其の儘なんですからね」

デ「ラーコムはあの二人を「ダルビーとジョアン」つて綽名してますよ」（一同笑ふ）

カ「娘の事を言つたんで、機嫌を惡くしましたがね、（笑つて）全くの話なんですもの・仕方がありやしませんわ。可哀想に、あの男はすつかりあの娘の手管に丸め込まれちまつたんですからね？婦人の中にあんなのが居るかと思ふと全く赤くなりますよ」

デ「唯の馳手だつたんでせう？」

シヤ「賭事師だつたんですわ——聲をすつかり潤らしちまふ迄はね」

カ「仕舞にはそりや可笑しかつたんださうですよ。「二つに一つ、一つの負け」つて聲を搾つてどなるんですけど、三尺離れてたら、まるつきり聞えないんですつて」

デ「實際言つてる丈けに富有なんでせうか？」

シャ「さあ……どんなものですかね、私には何とも言へませんね」

カ「私に言はせりやね、ビッアンはさつさとあの男と結婚しちまつて、早く何處かへ連れ出す事が第一ですね。――あのユダヤ人のジエーブ・サムエルの寄附かないやうな所へね――勿論あのライト老爺を心底から好きだつて言ふんなら、そりや何も心配する所はないでせうがね」

シャ「サムエルは厭にベタ〲とくつ附いてるぢやありませんか。一體何が始まつてるんです？あなた御聞きになつた事でもありますか？」

カ「エヽ、少しばかりね（目ばたきをして）大きな聲で話してりや聞くまいたつて聞えちまひまさあ。成程銀山を有つてるのかも知れませんがね、それがサムエルが言ふ通りの價値のものかも知れませんがね、それとも又一文の價値も無いものかも知れやしないぢやありませんか、ねえ？」

（時計が半時間過ぎを打つ）

シャ「オヤ、もう半だ。（立上つて）お夕飯の仕度に掛らなけりや。可笑しな世の中ですわね。（デ・フーレー夫人に）もつと何か召上りませんか？」

デ「もう澤山、有難う。」

カ「そして可笑しな人間が世の中に居てね……」

（ミセス・シャープは菓子を進める）

カ「有難う、もう結構。今夜は何の御馳走？」

シャ（棚の方へ行つて）「さあ……カレーでも調理ようかと思つてるんがね、一寸珍らしいだらうと思ひましてね」

カ「あゝ然うね、今日のやうな日にはお誂への御馳走ですよ。あなたのカレーは何時でもほんとに美味しいから」

シャ「御好きで何よりですわ。もうほんとに召上らないんですか？」

カ「エヽ、もう澤山」

シャ「ぢやあの娘に片附けさせませう」（開き戸から出て行く）

カ（ミセス・シャープの出たのを見澄まして）「肉が少し惡るくなつてるからなんですよ。セレー粉は惡臭を消すには持つて來いですからね」（つゞく）

基督教婦人矯風會第廿八回大會記錄

會場書記　村岡花子

會場　横濱山手二一二　共立女子神學校。

會期　大正八年自四月五日至四月七日。

第一日（四月五日月曜日）

午前の部

連日の陰雨に閉されて天氣鬱々たる中にも生氣横溢せるは大會々場なり。全國各支部より集ひ來りし代員は十時菊子司會の下に午前九時第一回の祈禱會を開く。三日間の大會の上に神恩の豊かに下らん事を祈る熱誠は幾多の人の祈禱となりて現る。眞に此の朝々の祈禱會こそは大會の原動力たるなり。

開會式

九時半を以て祈禱會閉會。小崎千代子登壇、同姉司會の下に開會式に移る。讃美歌合唱に次いで矯風會宣言書を一同にて朗讀す。矢島會頭はガントレット青年部長、渡瀬法律部副部長と共に萬國大會列席の爲め渡英の途上に在り、守屋少年部長又母堂の急病に逢ひて我等其の風貌に接し得ず、聊寂寥の感に打たれ居りし會衆は久布白幹事の熱烈なる演説を聽きて、頓に勇氣百倍せるの感ありき。八十有余年の生涯を經て猶英氣衰へざる矢島會頭が年毎に大會第一日の演説を以て松柏の霜に逢ひて愈々緑深きを我等に偲ばしむるに比し、久布白幹事の意氣は例へば彼の若き植物の芽生があらゆる障害を排して上に上にと伸び行く其の嚴かな

る生命の發露にも似たらんか、圓熟せる會頭と壯年意氣鋭き幹事と、實に我等のため好個の指導者たるなり。

久布白幹事は我が國基督教婦人矯風會の二大目標たる公娼制度全廢と酒造廢止とは婦人參政權獲得の曉に至りて其の成就を見得べしと叫ばる。顧みれば大正六年同じく此の横濱の市に大會の開かれしみぎり、我等は大正十年を期して公娼制度全廢を見ん爲め最上の努力を爲さん事を決せしなりき。後一週間を經ずして大阪飛田に新遊廓設置の聲起り、林大坂支部長は一年半に亘りて之が反對運動に從ひ、國内國外の同志相呼應して之を助けしも、終に失敗に終れり。

其の當時を思ふ時、今猶熱涙の下るを禁ずる能はず。彼の時にありては未だ時運熟せざるやの觀ありしも、今や我が國各地に男女貞潔問題に就ては反響を聽き得る迄に時代は進歩しつゝあり。然れど漸くにして、醒まされ來りし社會が眞に起ちて此の罪惡制度を一掃せんと努力せん事は更に幾ばくの歳月をか閲するに非ざれば、望み得ざる所なるべし。大正十年を期してと祈念せし其の十年は既に目前に迫り居れり。我等果して何事をも成し得ざりしにや。久布白幹事は曰ふ、心に思ふは彼の南米に黄金採掘に赴むきしといふ人の上なりと。彼の人頻に杖を以て土を掘り、金を求め居りし時意外にも一大鑛脈を發見せるなりと。我等日夜公娼制度の全廢を祈り、之を叫び、之が爲めに戰へども、全國五百有余の遊廓は巍然として聳え立ちて動かず。我等は唯に表面に現れたる制度の廢止を目標とし、論落婦人の救濟に當るのみを以て終れりとすべきに非ず、更に深く突き入りて鑛脈に觸れざるべからず。矯風會は不拔の信念を以て我が國各階級の婦人を抱擁せざるべからず、殊に職業婦人に接近せざるべからず。即ち婦人勞働運動に觸るゝべき者たるなり。職業婦人の大多數を成せる者に女工あり、若し矯風會にして眞に彼等の裡に自重心、自尊心を呼起すを得ば、徒らに垣を結びて、男工に接近する勿れ、品行を愼しめよなどゝ說くよりも遙かに有意義には非ざるなきか。看護婦も亦大なる團體を成せる職業婦人なり、誘惑多き彼等

の裡に自らを重ずるの信念を鼓吹し、世の惡風を除く爲めに努力せんとの思を起さしめ得ば、必ずや大なる結果を見得るなるべし。

四十余年前米國に始めて矯風會の起りし當時、最も米國の社會に害毒を流し居りしは飲酒の惡風なりき。然れば米國矯風會員は禁酒を以て目標となし、先づ兒童の間に此の主義の宣傳を爲し、終に今日全國禁酒令の實施を見るに至れり。我が社會に在りて、我等日本婦人矯風會員の目標とする處は二、一は酒造全廢、一は男女にたのしき貞操の標準を作り出さん事なり。此の二つの期成を見ん爲めには我等婦人も參政權を獲得せざるべからず。我等戰はんとすれども手を抑へられ、口を塞がれ居るの感あり。男子の間にさへ普通選擧の行はれ居らぬ我が國に於て女子に投票の權を求むるを餘りに早計なりと云ふ者ありや。世界の大勢は既に此處に趣むき居るに非ずや。我等日本婦人のみは政談演說會の傍聽をさへ禁ぜられ居るとは餘りに周圍と離れたる生活にはあらずや。我等は丹心を以て國を守らんと欲す、夫を愛し、子弟を保護せん事を希ふが故に、國の政に聲を有せん事を求むるなりと。

久布白幹事は能く我等の行くべき道を指示せられたり。

米國なる矯風會萬國本部より支那に派遣せらるゝミスチンリンの演說ある筈なりしも未だ來會あらざりし故大會執行委員の指名に移る。(プログラム參照)

一、大會執行委員長　小崎千代子
二、プログラム委員　守屋東—二宮わか
三、議題提出委員　久布白落實—林歌子
四、會場委員　石川ゆき—渡邊八重
五、接對委員
　代員接對—宮川靜枝—板倉うめ
　　　　　　林たれ—井深させ
　來客接對—平田もさ—吉田春
六、音樂委員　塚原茂
七、選擧委員　十時きく子—渡邊常
八、會計檢査委員　淸水種子
九、會場書記　村岡花子

議題提出　藤井かう

本部提出の件々左の如し

一、義務金を五錢に値上の件。

一、婦人新報代價改正の件、
一、九州部會に有給書記を置くの件、
一、酒造全廢、公娼廢止の實行方法に就き、
一、海外醜業婦防止運動の東洋本部を日本に置くの件。以上

支部發展の方法に就き林大阪支部長は矯風會員が常に時代の要求に應じ、時論を指導し行かざるべからざる事を說かる。

將に呱々の聲を擧げんとなし居る臺灣の新支部を代表せる丹下姉彼の地の運動に就て語らる。

米國ワシントン州に開かれたる米國婦人矯風會に列席せられし神戸支部長渡邊常子姉は我が國に禁酒運動の機熟せし事を語り、大に奬勵を與へらる。

緊急動議にて守屋少年部長母堂の見舞を電報にて送る事、又四月十一日より開かるゝ萬國大會へ祝電を發する事可決、會場書記へ委託。共立女子神學校長ミスプラットより歡迎の御書狀あり。大牟田桐山姉より祝電。

再び林大阪支部長新支部設立の方法に就き具體的の說明あり。最も大切なるは骨子となるべき中心人物を得るに在りと。又其の地に於ける各派の牧師諸氏の同情を得る事も肝要なりと。蓋し矯風會は社會と教會の橋梁たればなり。

萬國本部中華民國派遣員ミスチンリン來場、民國より米國に渡り、親しくゴルドン女史の教を受けしワン女史も共に歸國の途に在り、此大會に列席せらる。二女史紹介。聖經女學校のミススレートの紹介あり、讃美歌四百六十二番の合唱、主の祈を以て閉會。

□午後の部　二時開會

女子青年會より祝電あり。

出席代員點呼

出席代員　五十八名

他に青年部代員　二十一名

藤井かう

報告

婦人新報々告　藤井かう

通信書記報告　實務書記　宮川しづ枝

今井姉と清水姉の動議賛成あり、一同擧手通過。

記錄書記報告　久布白落實

古田姉十時姉の動議賛成を經て通過。

青年部報告　ガントレット恒子代理　大橋房子

鵜崎姉と清水姉の動議賛成を經て通過。

部長報告

傳道部　古田とみ子

交際部　北村みな子

文書部　村岡花子

家庭部　川崎正子

右四部報告は久布白姉と林姉の動議賛成を以て通過。

島田氏より祝電あり。

講演　ミステンリン、

學術的に禁酒を敎ふる方法に就き懇切に敎示せられて大に得る所ありき。此の方面は殊に女史の長ぜらるゝ所にして、凡て實驗に基づきて語らるゝ故一層興味深かりき。

讃美歌卅三番合唱、四時半閉會。

□夜の部

夜は追悼會を開きて此の一年間に天の住家に呼ばれし會員諸姉が地上に住みたりし間の事どもを偲び合ひ死といふ嚴かなる此の人生の事實の上に靜かに思凝らしぬ。

追悼會の後、別室に移り代員報告會を開く。代員は各々五分づゝ語りしが頗る要領を得し集會なりき。

□第二日（四月六日火曜日）

□午前之部

午前八時半より九時迄祈禱會開催。代員諸姉の熱切なる祈禱ありき。藤井から子矯風會各部の働の意義に就き語り、且つ奬勵を與へらる。

九時、大會第二日の日程に移る。

六日記錄朗讀　會場書記

二ケ所の訂正を經て通過。

風俗部研究會

久布白落實司會の下に風俗部研究會を開く。

五錢袋募金報告　　二階堂みよ

淸水姉、十時姉の動議と贊成を經て通過。

門司支部及び大垣のワイドナー姉より祝電あり。ワイドナー姉はガラタ書九章六節を贈らる。

横濱支部會員の中九名、番外代員として發言權を得。

風俗部運動の經過は久布白幹事より洩れなく報告せられた。昨年二月シベリアに三名の視察員を送りし事は布川氏島原天草地方の生活狀態視察に至り、（海外醜業婦が多く此の地方より出で居る故）、遂に今次の萬國婦人矯風會大會には海外醜業婦防止事業の東洋本部として日本を指定せられん事を請ふに及びしなり。代員各自の四分演說あり、益する所多かりき。

十一時、ミステンリンの講演あり、村岡花子通譯に當る。生理の方面より兒童に酒害の恐るべきを敎ふる敎授法に就きての講話なりき。十二時を過ぐる事十數分にして祈禱を以て閉會。庭前にて記念撮影を行なふ。大分支部、門司支部より祝電。

□午後之部（午後二時）

小崎千代子司會の下に開會。讃美歌合唱、井深花子の祈禱あり。

外人矯風會報告　　ミス、プレストン

慈愛館報告　　同上（ミス、ベンロッド代）

財務部研究會

財務部議事に移る。八年度實算及び九年度豫算朗讀千本木道子。豫算の中義務金現在額三錢を五錢に引上の件に就き熟議す。現在の儘にして、會員倍增運動を行ひてはとの議所々より出づ。明日まで宿題となす。

□夜之部（午後七時）

公開演說會（會場、開港記念館）

奏樂に次いで、テンリン女史「米國婦人と酒造全廢なる問題の下に講演さる。

大坂支部、神戸女學院靑年部に賞旗授與西洋婦人矯風會東京支部、山梨英和女學校靑年部、辰野支部は賞金を受領す。

ウヰルミナ女學校教頭西野貞子女史は「婦人とキリスト教」との題の下に、京都同志社女學校教授松田道子女史は「女學校改造論」久布白落實女史は「社會改造に對する矯風會の使命」なる題にて、各自熱辯を振はれたりき。

□第三日（四月七日水曜日）

八時半より祈禱會を開く事、前日に同じ。

午前九時、議長着席、昨日に引續き財務部協議會を開く。義務金値上の件は今井姉と淸水姉の動議と賛成を經て可決

基本金募集委員を各支部より擧げる事に賛成者多し右基本金募集の爲め、十錢袋作製の事も可決。九年度募金方法」として千本木道子贊助員五百名を募る事及び、音樂會、バザーの催を擧ぐ。

藤井女醫が本部會館にて開き居る家庭衞生講習會々費も亦財源の一となり居るなり。本部より支部會員の間に直接寄附金を募集する事に就きては種々なる論出でしも結局、支部長の紹介を經ずしては爲さゞる事に決す。なほ五錢袋募金中より五百圓旅費として寄附を受けるやう經常費豫算中に算入しありしも、久布白姉より不賛成の聲出で、金額指定は取消となる。神戸支部代員は賛助員三十名募集の事を約す。淸水姉と二宮姉の動議と賛成を經て九年度豫算は通過し、財務部協議會決了。議事に移る。

議　事

婦人新報値上げの件は四月號より十五錢に可決。（但既納の講讀料は値上げせぬ事）。印刷費騰貴の今、止むを得ざる所なり。時即ち金なる今の時代相當の原稿料を支拂はずして、價値ある原稿の執筆を請ふは難事なり。將來に於ては此の點にも留意すべきなり。

九州部會に有給幹事を送る事は既に同部會より右俸給の一部として毎月二十五圓づゝ本部に宛てゝ送金しつゝあり、近き將來に於て適當なる人を派遣するやう大會は之を承認す。

酒造全廢の實行方法に就いては、目標を酒造全廢に置き、禁酒運動に盡力するが順序なり。科學の方面より、又道德の方面より、此の主義を兒童に鼓吹せよとの聲起る。教科書作成も焦眉の問題なり。種々なる實

驗談あり、矯風會の中に新に廢酒部を設くる事可決。

婦人勞働問題の件、婦人參政權獲得を會の項領の一となすの件大會の承認を得たり。

海外醜業婦問題につき東洋の委員會を日本に開催の件に就きては餘りに國辱を他に曝すが如き擧に非ずやとの說ありしも、萬國本部よりの東洋派遣員などは此の問題に就き我々日本人よりもなほ深き知識を有し居る事なれば寧ろ彼等を日本に招じて、我が海外醜業婦の有樣を審かにするは然したる問題には非るべしとの答あり、本部にても未だ具體的の計畫とては作り居らず、來年一月頃ゴルドン女史來朝を期として運動を開始せんかとの案もあり。萬國大會出席中のガンドレット夫人には海峽殖民地に於ける我が國醜業婦の狀態視察を依賴しあれば、今秋同夫人歸國の曉には事情を審かになし得るならんと思はる。

國民禁酒會と氣脈を通じて運動するの件は大會之を承認す。

萬國日曜學校大會の時少年禁酒敎育に力を入るゝやう提議する事は渡邊常子、守屋東、西野貞子の三姉を委員として萬事を委托す。

中學校生徒及び敎師の飮酒、喫煙の取締、及び政府が煙草の耕作に補助獎勵をなさゞるやう取計らふの件は新任敎育部長及び廢酒部長の盡力を待つ事に決す。

電車內の喫煙に就き、又男子の飮酒に對する婦人の對度につき適切なる注意あり、一同は矯風會の二大主義たる禁酒、禁煙に對し、一層徹底的に運動すべき事を深く感じたり。正午の祈禱を以て閉會。

昨夜演說會の時に守屋少年部長母堂長逝の報ありき哀悼の意に堪へず。

口午後之部（午後二時開會）

代員點呼　藤井かう

計　六十八名

甲府支部渡邊しげ子の祈禱の後、役員選擧開始の前緊急動議として慈愛館主任ミス、ベンロッドの辭表提出の報告あり。十時姉の動議、今井姉の贊成を經て右辭表は受入るゝ事に決す。

規則變更の件。矯風會を財團法人の組織になす爲め目下普賢寺辯護士に御助力を請ひ居る所なるが、右手續を進行さするに當り、規則第二條に「目的」として記されたる文を變更するの必要あり。第二條の明文左

の如し。

「本會の目的は基督教主義により禁酒禁煙の勵行を始め諸般の弊習を矯正し社會風致を高め基督教を傳播し以て人生の幸福を増進するにあり」。

此の文に依る時は矯風會の目的となす所は二つとなり、從つて管轄官省も二つに分るゝ事となるなり。

第一の目的は「基督教主義により禁酒禁煙の勵行を始め……風教を高め」迄にして此は内務省の監督の下に來り、第二の目的「基督教を傳播し」の方は文部省の管轄域内に入るべきものなれば、此の文面を此の儘に殘し置きては手續稍煩雜に渉るの患あれば、何とか變更しては如何との普賢寺氏よりの御注意あり、元來規則變更は一ヶ年を經ざればなし能はざる所なれども、特別の事情に依り、直ちに變更する事に決す。「キリスト教主義に依り」の言葉あれば、特に「キリスト教を傳播し」は不要なりとの說出づ。

井深姉は文面變更を委員に附托せん事を動議ず。

可決　本部常置員に附托。

役員選擧

選擧委員　渡邊常子

同　十時菊子

藤井通信書記は醫師の職責を持ちつゝ、通信書記の任に堪へざるとの理由の下に辭職の申出あり、併せて後任者として守屋姉を推薦す。

選擧開始に先だち渡邊常子の祈禱あり。十時菊子は通信書記の外、他の役員一同に留任を請ふ事を主張す。城戸姉は留任を請ふの動議を起し、井深姉は清水姉の贊成あり。藤井姉の辭任は事情止むを得ざる所なるを以て、年來の御努力を感謝しつゝ之を受入る。一同起立謝意を表す。

守屋姉は既に少年部長の重任を荷はれ居る事なれば之に又通信書記の勞を請ふは如何との說あり、

藤井姉は之に答へて、矯風會本部の重大事務は凡て守屋姉の手を煩し居る事なれば、今の場合は唯同姉に通信書記なる名義を公にする丈けの事なりと言ふ。

藤井姉の提議受入の動議、渡邊姉より出で、贊成を經て可決。會場書記は本會を代表して一票を投じて他の本部役員は昨年度の儘留任となる。

會頭　矢島揖

副會頭　小崎千代

會計　淺田みか

記錄書記　久布白落實
通信書記　守屋東

小崎副會頭、久布白書記登壇、全會は起立して敬意を表す。

新任部長報告。

送別會

之よりミス、スペンサーの送別會、及びミス、テンリン、ミス、ワングの歡迎會を開く。司會者井深花子。

讃美歌　三十番合唱

大會を代表して十時菊子、西洋婦人矯風會を代表してミス、プレストン、スペンサー女史に送別の辭を述べ、記念品を贈呈す。

答辭　ミス、スペンサー
合唱　青年部

ミス、テンリン、ミス、ワンの歡迎會に移る。

久布白落實、歡迎の辭を述べ、二女史の答辭あり、ミス、ワンの答辭に依り、我等は今更の如く日支兩國の密接なる關係を感ぜしめられたり。

海岸教會笹倉牧師大會に對し歡迎の辭を寄せられ、合せて所感を語らる、

送別會閉了。

財務

小崎議長登壇、新任通信書記は有給なる事の承認を大會に求め、大會は之を承認す。

來年度大會は東京に於て、四月第二火曜日より水、木曜日に亘りて開催の報告あり。記錄朗讀、會場書記。

靜岡支部安藤たけ子は大會を代表して會場書記に懇篤なる感謝の辭を寄せらる。

淸水姉は橫濱支部に謝辭を呈し、二宮わか子姉答辭を述ぶ。

讃美歌三百九十二番合唱、笹倉牧師の祝禱を以て、第廿八回大會は歡喜の裡に終了す。散會に先だち、本部事務書記諸姉の紹介ありき。

□□大正八年度報告□□

過去一ヶ年の間に社會には改造途上の諸現象が相次いで表れました。此間吾が矯風會は其使命の二大眼目とする公娼全廢並に酒造全廢を中心として著實な態度で社會矯風改善のために運動方法を講じて參りました。今回第廿八回の意義ある大會を此横濱市に開き遠きは北海道臺灣を始め各地から三千有余人を代表して集まられた八十余人の方々に向つて、本部と共に、歩調を揃へて凡ゆる方面に多大の努力と奮闘をされた事を深く感謝致します。

左に八年度の大畧の報告をなす。

一、現存支部　六五　會員　名簿上　三千五百四十九人
　　　　　　　　　　　　　義務金上　三千〇六十三人

一、本年度新設支部　七　伊勢崎、千駄谷、平塚、富山、佐世保、明石、奈良

一、散會せし支部　二　山口、小石川、—會員少きため祈禱會とせしもの、下館。

一、此外青年部支部一七あり、詳細は青年部報告參照

一、報告の來りし支部、四三。

左に大なる眼目によりて一年間の活動を報ず。

通信書記　藤井かう

實務書記　宮川靜枝

138

公娼全廢

一、七年度の大會に於て議せられたる公娼全廢の決議を實現すべく本部も又各支部も共に鋭き注意を怠らざりき。

一、公娼全廢の理想實現の一方法として第四十三議會開催中公娼全廢の請願書を、矯風會全體を代表して會頭並に風俗部長久布白落實姉の署名を以て貴衆兩議院に提出せり。

一、第一議會以來提出し來りし民法刑法の改正請願を議會に提出せり。

一、藤井姉は本部家庭部衞生課長として、守屋姉は本部社會部長として、最近新設されたる新婦人協會の花柳病男子の結婚制限の請願の趣意に賛し、各支部にも其調印を願ひしに豫期以上の調印を得て感謝せり。

一、公娼全廢教育運動の資金は全國各支部は勿論各教會學校其他各家庭より會社より工場より集り公娼制

限全廢の賛成者實に多きを知る。
地方に於ける此方面の重なる運動を報告せんに、

一、五月中旬信州辰野に於て遊廓新設の運動起りしも支部長林まさ子姉を始め矯風會員は土地の廓清會、青年會、婦人會等と提携して、八方運動されし結果此を未然に防ぐ事を得、六月十日には已に勝利の報を得たり。

一、七月初旬和歌山市に遊廓新設の運動起れりとの報をある新聞記者より通信され直に大阪支部長林歌子姉に同市に出張を依頼せり、林姉は直に同地に赴きて御多忙の中より三日間滯在して或は當局に迫り或は講演會を開くなど熱心に盡力し然に、市會萬場一致にて決議され居りしといふ野蠻なる新設運動を撤廢さするを得たり。

一、神戸に於ては遊廓移轉問題につきて運動され、大分に於ては遊廓新設の反對運動行はれたり。

海外醜業婦問題

一、第四十二議會は例年の如く海外醜業婦取締の請願を貴衆兩院に提出せり。

一、海外醜業婦防止會（シベリヤ委員會の改稱）にては先にシベリヤ視察の結果海外醜業婦の根源地たる島原天草等の調査視察の必要を認め、調査委員の一人たる布川孫市氏に調査視察を依頼せり。同氏は七月十四日より最も暑氣烈しき折一年僅に三週間の夏休みを献げて旅程に上られたり。而して、歷史、地理、經濟、風俗、人情等の各方面より緻密なる研究を遂げて、實際運動に著手すべき羅針盤を與へられたり。而して其報告は各役員會、八月中旬輕井澤に於ける在日本西洋婦人矯風會大會に於て發表され、西洋人支部にては種々懇切なる決議をされたり。尚十月十日夜青年會館に於て其報告演說會を開き世論を喚起し世の反省を促せり、因に此報告は一册とすべく印刷中。

一、十月中に開催されたる日本組合教會、日本キリスト教會、日本メソヂスト教會の各總會、及びバプテスト教會關東部會に海外醜業婦防止委員會の調査を經、會頭矢島楫の名を以て海外醜業婦防止運動について建議案を提出せり。

酒造全廢

一、第四十二議會に會頭並少年禁酒軍長守屋東の名を以て酒造全廢の請願を貴衆兩議院に提出せり。

一、十月中旬（十、十一）銀座會館に禁酒會第廿三回總會開かれし際は會頭及び守屋姉出席して一講演をなせり、尚二月十日東京に於て催されし日本禁酒會並國民禁酒會の聯合禁酒宣傳大示威運動には本部より數名參加して終日應援せり。

一、酒害は今や一般の社會に於ても識者の認むる處となり各支部に於て少年教育に注意さるゝと共に、又普通一般の社會に於ても禁酒運動は國家的運動たるべしとの傾向を存するやうになれり、此方面に於て特に金澤に於て婦人矯風會、靑年部、少年部の活動實に目覺ましく且つ良結果なりき。

又大阪支部に於ては十月上旬矯風會講演團組織され已に數回の公會を開きて此方面に社會の輿論を喚起されつゝあり。

一、十一月上旬神戸市少年禁酒會組織され熊本、金澤鎌倉にも新設され著々有効なる運動を進められつゝあり。

新刊小冊子類

一、報國の好機、（若き婦人方に告ぐ）

一、三澤千代野事件顛末　英、和兩文。

一、キリストと共に社會の奉仕を。

重なる集會

一、八月上旬在日本西洋婦人矯風會大會。

一、上州部會、十月卅一日藤岡にて開催。

一、九州部會、十一月三、四日最も重大なる決議事項は「九州部會に轉任幹事を大正九年六月より派遣せらるゝやう本部に請願する事。」

此ために俸給として已に九州部會より毎月廿五圓宛發送し來り居れば本部にては、出來る丈け早く人選して派遣する事に決し居れり。

一、大阪支部第廿回年會、（十二月六日）三萬圓の建築費を投じて新築落成したる大阪婦人ホーム新館に於て開かれ、廿年來粉骨碎身社會矯風のために盡瘁されたる林支部長に謝狀及び五百圓余を贈れり、又清水副支部長にも多年の勞を謝し謝狀及び記念品を贈れり。

本部は兩姉に會頭よりの謝狀を贈れり。

支部訪問

一、大久保音羽姉上州に赴かれ居るを幸ひ上州支部巡廻を依頼せり、(四月十七日)同姉は快く各地を訪問され其結果伊勢崎支部新設されたり。

一、守屋東姉四月廿七日より三日間信州地方に出張され、木下及び辰野に於て大に主義宣傳のため活動されたり。

一、五月十二日より四日間會頭、守屋姉上州部會各支部訪問。

一、守屋姉五月廿四日より三日間相州平塚へ出張され其結果新らたに平塚支部誕生す。

一、守屋姉六月三日より一週間の豫定にて金澤、富山に出張され其結果七月四日富山より支部設立の報來る。

一、藤井孝子姉十月十三日土浦支部に於ける秋季講演會に出張。

一、ガントレツト恒子姉十月十七日茨城縣石岡町へ講演のため出張。

一、會頭並に守屋姉十月廿九日出發信州辰野及び木下支部の平和記念運動を應援し、引續き

一、十一月四五兩日福岡市に開催されし九州部會總會に出席さる、而して此機會を利用して佐世保、大牟田、熊本、長崎、廣島、呉、神戸、大垣を訪ひて大活に動さる。此旅行の結果、佐世保に新支部生る。

一、十月十三、四、兩日松山に開かれし矯風會秋季大會に呉支部長十時菊子姉應援され大に主義宣傳のため盡されたり。

一、十一月上旬青年部書記大橋房子姉京都、神戸、大阪へ出張して主義のため盡され同月十八、九兩日水戸に出張されたり。

一、十月卅一日藤岡に開催されし上州部會大會にガントレツト恒子姉講演のため出張さる。

一、十一月三日大阪婦人ホーム奉堂式新築落成に大久保音羽姉會頭代理にて出席。

一、十一月廿七日會頭、守屋姉相州平塚、茅ケ崎、鎌倉訪問。

新設されたる社會改善機關

一、興望館、西洋婦人矯風會東京支部の經營になる。

一、廣島婦人ホーム、―社會部報告參照。

一、大阪婦人、矯風會講演團禁酒節米、男女貞操、家庭教育、衛生の諸項に分ち有効なる社會教育をなしつゝあり。

本部としての重なる報告

赤坂なる本部にては過る一年間次から次にと起り來る問題事件等のため、會頭はじめ本部役員常置員會、實務者により多くの時間と勞力と智慧と犠牲を拂ひたり。幸にして各支部にても通信其他の運動に熱心に盡力され全體に亘りて其數及び質に於て從來よりも幾段の進歩を見る。

一、一月には本部家庭部主催の學生招待會

一、二月(い)本部社會部主催の代議士招待會

(ろ)婦人教役者會と共催にて國家祈禱會。

一、二月十三日の臨時常置員會に於て四月に開催の萬國矯風會大會に日本支部を代表して矢島會頭、法律部副部長として渡瀬かめ子、青年部代表としてガントレット恒子の三姉を送る事に決せり。而して三姉は三月十三日横濱出帆希望に充ちて出發されたり。

倫敦の大會に提出せる議題

一、日本支部に三名の特派員を送られたき事。二名は全國支部巡廻のため一名は本部のため。

二、事務見習のため萬國本部に年々一名の實務者を送る事。

三、日本支部へ送金の際は直接日本支部の會計に送られたき事。

四、卅年の經驗より東洋の廓清運動は日本に最も密なる關係ある事故日本の會頭を以て其委員長に任命されたき事。

以上は日本支部より代表して行かれし方々によりて提出されたり。

尚倫敦に赴かれしを幸ひ、過日スペインマドラッドに開かるゝ婦人參政權大會に吾が矯風會よりの出席を希望し來り居ればガントレット姉に出席を依頼せり、同姉は大會後地中海を經てシンガポール香港上海等各地に於ける醜業婦問題を研究視察さるゝ豫定なり。

一、十一月、慈愛館の經常費不足額を補ふため全國各支部會員、各教會等に約四千の檄を發す、多大の同情を得て約千百圓の金額を得たり、感謝の外なし、

理解ある處必らず同情あるを信ず。

一、婦女新聞主唱の女子高等教育請願には會頭發起人の一人となられたり。又會として出來るだけの調印を集めて其成功を願ひたり。

一、新婦人協會の二請願の一なる治安警察法第五條修正の請願にも各支部に願ひて出來るだけの調印を求めて助力せり。

一、兼ねて萬國本部にては日本は最早や人よりも財力の方面に於て援助すべきなりとの考へを抱き、其結果矢島楫子奬學資金を東京女子大學に置き、健全にして有望なる學生にして將來矯風事業のために起たんとする人のために備へられたり。

一、大阪支部の提案に基き、會頭八十八の米壽を記念するため東京部會、大阪支部、九州部會、北海道、西洋人側より各一名發起人を出して八八のつく金額にて募金せり、其結果貳千圓以上集り、此を會頭渡英の餞とせり。

發送物は萬國本部、各支部への通信報告等をはじめ單に實務通信書記の手を通して出でしもの約五千七百なり。此外に本部事務所より出でしもの夥し。

永眠されし人々

横濱支部　寺本かれ子
京都支部　田村さく子　本田しう子
吳　支部　菊池のぶ子
神戸支部　苗村かつ子　大島やす子　森本じゅん子　片山ひで子
　　　　　松永いと子　加納瓦子　市田きく子
弘前支部　太田せき子
高松支部　宇野澤とみ子
岡山支部　太田せき子
神戸女學院　青年部　神田ひし子　三好とも子　丹田ひさゑ子

會に同情を寄せられし石神亨氏、男爵森林市左衛門氏、井上府知事、床次内相夫人を亡ひ哀悼に堪へず。

□□會員五千人を目標として□□

現在支部　八十三
會員數　三千五百人

支部としては平均廿人増加すれば此の目標に達する事が出來ます。

會員としては一人の友を説いて、社會奉仕と人類の幸福増進のための理想運動に參加する力ある會員を造つて頂きたく存じます。

□□會計報告□□

項目	大正九年度豫算	大正八年度實算
□收入總額	七、二七六・〇〇	三、〇〇六・九四
義務金(一ヶ月五錢ニ改正)	一、五〇〇・〇〇	八四八・六四
萬國本部ヨリ補助	一、〇〇〇・〇〇	一、〇〇〇・〇〇
財務部ヨリ寄附豫約	四、〇九六・〇〇	七六二・八〇
指定寄附	六八〇・〇〇	一四五・五〇
□支出總額	七、二七六・〇〇	三、七三一・二〇、五
事務費	五、〇三〇・〇〇	二、七三五・一七、五
俸給	三、三六〇・〇〇	二、〇三五・〇〇
旅費	三〇〇・〇〇	一三六・〇〇
通信費	一八〇・〇〇	一五七、六六、五
印刷費	二五〇・〇〇	六二・二〇
備品費	五〇・〇〇	二九・九一
消耗品費	一五〇・〇〇	六三・四八
交通費	六〇・〇〇	—
交際費	五〇・〇〇	二四・七五
臨時費	一二〇・〇〇	二三五・二〇
運動費		
部會費	六〇〇・〇〇	
海外日本人矯風會ノ爲	三〇〇・〇〇	
九州部會費	三〇〇・〇〇	
機關雜誌補助	四二〇・〇〇	
婦人新報	三五〇・〇〇	
少年新報	六〇・〇〇	
大會費	四二五・〇〇	二五〇・〇〇
印刷費	五〇・〇〇	
旅費	一〇〇・〇〇	
謝禮	五〇・〇〇	
食費補助	一〇〇・〇〇	
會場費	五〇・〇〇	
通信費	三〇・〇〇	
消耗品費	二〇・〇〇	
賞金	二五・〇〇	
本部會館費	一、二四一・〇〇	九三七・〇三、
税金	九一・〇〇	九〇・三八
火災保險	八〇・〇〇	八〇・〇〇
電話料	一五〇・〇〇	六六・〇〇
電燈料、炭、水道	二七〇・〇〇	二五五・六〇
手當	三〇〇・〇〇	一九三・〇〇
備品費	三〇・〇〇	一五・五九
通信費	三・〇〇	二・二六
衛生費	三〇・〇〇	二〇・三
裝飾費	一二・〇〇	二・九八
交際費	九〇・〇〇	八三・四八

東部會計 淺田みか子
實務書記 千本木みち子

消耗品費	二〇・〇〇	一〇・六四
新聞雑誌費	三〇・〇〇	九・六八
修繕費	一〇〇・〇〇	七四・七八
臨時費	三五・〇〇	三一・四三
萬國本部へ義務金	八〇・〇〇	六〇・〇〇
前年度繰越金	—	五五〇・〇〇
差引	—	不足一七五・二六、五

去る廿八大會に於て義務金を一ヶ月五錢（一ヶ年六十錢と改正の事に決議になりましたから大正九年四月からの義務金は改正の金額で御送金を願ひます。

財務部報告

□基本金

大正八年度　二千四百五拾六圓七拾錢也

累計二千五百貳拾七圓貳拾錢也

本年度は基本金募集に全會員が全力を注ぐ事になりました、而して

一、各支部より基本金募集委員を一名以上出す事、
二、右人名を五月廿日迄に本部財務部に通知の事、
三、本部財務部と各支部募集委員とは聯絡をとつて着々その實行に務める事。

の三項を決議致しました、何卒諸姉の御奮發を切に希望致します。

□賛助金

大正八年度

特別賛助金　四百八拾九圓八拾錢也

賛助金　三百六十圓也

賛助員數百七名

既納金額　二百七拾參圓也

未納金額　八拾七圓也

□經常費財源

一、義務金を一ヶ月五錢とする事	千五百圓
一、外國本部よりの補助	千圓
一、指定寄附	六百八十圓
一、賛助員を五百にする事	千五百圓
一、催しごとをする事（音樂會或はバザー）	三千圓

以上の五項目によつて經常費をつくりたいと思ひました幸ひ大會に於て五項目共賛成を得ました。

それで本年度は賛助員募集にも全力を注いで頂き度いと思ひます、近い中に賛助員申込書を御送り致しますからどうぞ御助力を願ひます。

如何しても矯風事業も財力なくしては充分にその効果を擧ぐる事出來ません、今度年の大會に於て本部會計としての一年間の困しい經驗を披瀝して諸姉の御援

助を願ひましたそれに對して御出席の諸姉には快く應援を致す事を御約束下さいました事を深く感謝致します、何卒御出席にならなかつた各支部の皆様方にも、

□□婦人新報々告□□

□婦人新報毎月印刷數

大正八年	四月	二、三〇〇
同	五、六、七月	二、六〇〇
同	八月	二、六三〇
同	九、十月	二、七〇〇
同	十一、十二、一、二月	二、六五〇
同	三月	二、七〇〇

以上

□大正九年二月各地發送數（毎月大差ナシ）

海外	一八四
內地講讀數（各支部及個人）	一、八八一

□其他（敎育運動、進呈等） 五五九

合計二千六百二十四部

□□交際部報告□□

一、報告書を返送されたる支部數 二十一、

日本の矯風事業の爲、引いては人類の幸福を目的と致して居る矯風會員としてその事業の運動費の爲めに、募金なすつて頂度いと切に希ふ次第であります。

主任者 藤井かう

實務書記 板倉うめ

大正八年三月ヨリ同九年二月マデ合計

一、收入部

講讀料	二、四〇〇・一五円

一、支出部

內譯	
印刷費	一、九九〇・〇〇円
編輯費	、一二〇・〇〇
發送費	六三・七〇
通信費	七七・八二
雜費	七四・八六
合計	二、三四二・三三

一、差引殘金 五七・八二

副部長 北村美郎

水戸、大分、辰野、高松、丸龜、神田、京都、木下、

二、富山、弘前、山梨、小樽、熊本、堺、宇都宮、神戸、岡山、大阪、前橋、門司、廣島
花の課に關する報告
い、軍隊　丸龜支部
ろ、病院　丸龜、神田(三)富山(一)山梨、神戸(見舞、慰藉料)
は、監獄
に、孤兒院、丸龜、山梨
ほ、消防夫
へ、窮民　水戸(イ、窮民救助、九回 ロ、小女授學)詳細は別紙報告書及新聞切拔あり　丸龜、神田(數回)弘前、堺
と、個人、水戸(各個人會員及病者)京都(會員の病者及不幸の人)堺
(但宇都宮支部は全體として只「あり」との報告あり)
三、交際課に關する報告(あり)
(い)辰野、木下(矢島會頭及富山知事夫妻)富山(病氣慰問)
(ろ)なし

□□大正八年度青年部報告□□

青年部長ミセス・ガレントットが丁度地球をはさんで反對のがはにさかさまに立つて居らつしやる次第

(は)辰野、神田、木下、
四、誕生日獻金に關する場合
「實行す」
大阪(事務所より現状、年に應じて獻金 大正三年開始、昨年九二三〇、良好)小樽(良好)弘前、富山(好良)丸龜(二、三の會員實行)高松(大正八年一月より實行良好)
五、ウイラード女史記念に關する場合、二月十七日
「守る」
大阪、堺、熊本(公會演説會)
京都、丸龜(集會)
富山(來年より守る)
六、以上の項目以外の事業報告
一、水戸、公私娼全廢運動トラクト配布
二、大分社交部の市内シベリア出征軍人遺族慰問音樂會
三、岡山支部(一、高等學校生徒、醫學專門學生、慰安會、春秋二期一回宛 二、春期一回、女中慰安會)

ガントレット、恒子
代　大橋　房

ですので、私が代つて大正八年度青年部の報告を致します。

現在に於ける青年部數　一七
同會員數　五二二
新設支部數　一（中央青年部）
新入會員數　一九九

これは今日迄にまとまつただけの報告を基礎にしての統計ですから勿論完全なものではありません。從つて大正七年度との比較も完全には出來かねます。なほ詳細の事は表に記入しておきましたから、此處では略します。

部長個人としては此の一年間、はたで見てゐる私でさへ氣狂ひになりさうな氣のする程、息をつく暇もなく駈けずり廻つて居られましたが、その何處までが公人としてのミセス・ガントレットであり、何處からが私人としての恒子夫人であり、何の點に於いて矯風會青年部長であるのかは私にはよく判りません。とにかく講演に講習に講義に訪問に、至る所あらゆる方面に異向から白リボンを振りかざして突進して行つたのは覆ひきれぬ事實です。數につまみ出せるものを擧げれば左の如くです。

受信數　二三四　　講演度數　一三
發信數　四七五　　講習數　一一

大正八年度青年部報告

青年部長ガントレット恒子
代　大橋房

名稱所在地	現員數	新入數	例會數	委會數	義務金納付人數	義務金總額	五錢袋	婦人新報	少年新報	設けある課	役	員名
神戸女學院青年部	一、八二	九二	五	一	一、八二	三二、七六			五	教育、文書、風俗、交際、財務	會長　副會長　書記　會計	森知子　相原けい　島村愛　奥村政枝
山梨英和女學校青年部	五〇	二〇	一〇	一	五〇		一九〇			文書、風俗、交際	會長　副會長　書記　會計	八巻旭　藤島千代
同志社女學校青年部	四五	一〇	九	一	二七			一〇	一	風俗、交際、財務	會長　副會長　書記　會計	土倉廣　藤井民　村田　藤井初

											會長	副會長	書記	會計
北陸女學校青年部	四四	一四	二、二		四四	六、四〇		一	一	教育、(運動)	中村かしく	中宮かなり	諸江さよ	中村春美
普進土青年部	四〇	一九	一、一				九〇〇		三〇	文書、風俗	上原貞子	岩崎英	宮丸かつの	大石ふか
金澤青年部	三八	一五	九	二	五五	六、〇六五	二二〇			教育、文書、交際、傳道、社會、財務	松川はる枝	中澤咲子	升方ちよ子	金澤みちよ
聖經女學校青年部	二、一	六	一、一		二、一	三、七八	三八〇	一		傳道	近藤ちゑ	大島靜江	山田はじめ	豐島房代
大阪青年部	三、一	二	五							財務、風俗	藤井律子	稻垣安子	増田愛子	林道子
共立神學校青年部	二六	六	一、一			三、〇〇	二九	一			岩垣三枝	塚原茂	鈴木えい	田上やえ
丸龜青年部	二〇													
小石川青年部	二〇		三		二〇	二、〇〇					小山松子	篠井久代	堀田貞子	石井福子
中央青年部	一五	一五	八		一五	〇、八四				教育、文書、交際、傳道、	淺田雅子	松宮咲子	小池春子	毛利美子

149

熊本青年部	一〇	七	一	一〇	一、八〇	二四〇	一	
計	五二、二	一九九	一一、一	六	四〇四	六一、〇九五	二〇二二	一四 三七

會長 松本幸子
副會長 山口のぶ子
書記 石原辰子
會計 岐部貞子

活動

大阪府衞生會主催マスクデーの記

大阪支部 篠井律子

今回流行性感冒猖獗を極むるや府當局に於ては之が豫防法としてマスク使用を最も適當なりと認め奬勵せらる哉奸商等粗惡品を高價に發賣し不當の利を貪るの弊多く府衞生會にてはそれが防止の爲優良なるマスク一萬箇を實費にて一般市民に供給すべく計畫せられ婦人矯風會女學校同窓會等の婦人團隊に製作を依頼さる旬日ならずして完成し一月二十八日午前八時よりマスクデーを開催するにいたる當日は衞生會にて萬端の準備を整へ梅田。坂神。潮見橋。湊町。難波。惠美須。大阪軌道三越前阪急電鐵。の十箇所にテントを張りテーブルを置き矯風會員を數會別けに割あて梅田をその本部となし林支部長早朝より衞生會員新聞記者と共にマスク宣傳自動車にて各所の會員激勵に努めその路々五色のラケットを配布す當日恰も衆議員補缺選擧の前日の事とて運動自動車とマスク宣傳自動車市內を交叉疾走し一大偉觀を呈す正午より新に隊を組み千日前其他の不定箇所に出動す生憎午後より降雨を催し遺憾ながら豫定の成績を擧ぐる事を得ざりしも賣揚金五百三十三圓〇二錢を得たり、なほ本會は府衞生會より丁寧なる感謝狀に金五拾圓を副へ贈呈を享く。此擧たるや市民の衞生的覺醒を促すと共に我婦人矯風會の社會に對し奉任の一端をあらはすを得しを感謝す。

中の島六丁目 婦人矯風會
大阪支部 篠井律

廢酒大運動

神戸支部　渡邊常子

去る四月十六日午前今回米國より支那に赴かるゝ特派員王立明及びミス、チンリン、ミス、ワンの兩孃を迎へ、ランバス女子神學校に宿泊接待の便宜を與ふ、兩孃は此處に三日間滯在ありて左の運動の爲め加勢應援、今其の集會の概略を述ぶれば

一十六日(金)午後二時半より神戸女學校講堂に於ける講演講師ミス、チンリン會長渡邊常子姉通譯にて講演あり。。。。。。。。。。

一十七日(土)午前九時より縣立高等女學校に於てミス・テー講演同校教師塚本姉通譯、七百餘の全校生徒及び職員、藤田理事等出席あり多大の感動を與へらる、ミス・テーは會長同道にて縣廳に有吉知事を訪問敬禮を表せらる、同夜ランバス、幼稚園にて活動寫眞にて園兒に示され子供大喜。。。。。。。。。。

一十八日(日)午後二時より神戸少年禁酒團大會青年會舘にて開かれ兵庫縣有吉知事閣下代理奬勵の辭の後ミステー千人にも近き子供に酒の害を話さる同夜ミステーは又神戸組合教會に於て萬國禁酒運動の狀態と題し委しく各國に於ける廢酒運動の方法、目下の急務を吾人に教示せらる、聽衆中には初めて此運動を耳にしたるものありて以後此運動の爲め矯風會員たらんことを約されたり、ミス・ワン孃は同日神戸女學校寄宿生の爲め別に話さる我神戸支部は大會後此遠來の珍客を迎へて學校、教會、少年禁酒團、廢酒期成會と協力有効なる働きをなし得しは深く感謝する所なり。

四月十九日(月)同夜七時半より大演說會青年會館にて催さる出席者八九百名多大の感動を市民に與へらる。

同廿日(火)午前田子書記官は神戸女學校講堂に於て婦人に適切なる講話を約一時間男女共通に人格の貴ぶべきものなる事、慈善事業廢酒事業等社會奉仕は今後宜しく婦人がなすべきをいと親切丁寧に話さる午後市に於ける社會事業を視察せらる公務の御繁忙なるに今回特に神戸の廢酒運動に御應援多大の感興を與へ有効なる働きをなし給ひしは我等の感謝に堪へざる所なり。

各支部報告

明石支部

やう〳〵生れた計りの赤兒なれ共、追々生長さ共に幾分の御奉仕を致度さ希望を以て祈つて居ります。三月六日明石組合教會に發會式を開き左の役員を選擧しました。支部長森山信子。副支部長大屋学子、會計美濃部廸子、書記加藤せい子、現在會員數卅三名にて婦人新報購讀者十六名。新生の此支部のために皆樣の御祈さ御導をお願致します。

書記　加藤せい

廣島支部

昨年十一月矢島會頭守屋姉御出での節守屋姉に祈禱團の必要を説かれたるを動機として、十二月十三日祈禱會の時にはじめて同團生る。

一月十日　祈禱會を開き國家のため矯風會事業、會頭、廣島支部及び婦人ホームのため切實に祈る、來會者多辻支部長松山姉。

一月廿一日　毎年一月には親睦會を開く例なるも今年は此を廢して大祈禱會さするの相談を多辻支部長、永久會計、松山の三人の間に起りたれば、早速、赤岩副支部長タウソン傳道部長を訪ひて相　一决す。

一月卅一日　大祈禱會を開き、和田牧師の實に有益なる奬勵あり。支部長始め出席七名。

二月十四日　婦人ホームにて祈禱會。出席二。

二月十一日　聯合婦人會主催大講演會。多辻支部長は「吾等女性の肩には」さ題して熱烈なる演説をされ、リントストロム夫人は東地東遊廓設立者記念碑に對し反對演説をされたり。

二月廿八日　常議員會。出席十名、今年議會に提出すべき事件及會頭の萬國矯風會大會に列せらるゝにつき米諾の祝を兼れ餞別さして御送金する事に付相談せり。

松山支部

一月十三日　ニコエス氏宅にて新年第二回親睦會開催。名譽會員たる四名の牧師の有益なる講話あり。音樂余興等ありて樂しく懇談せり。ダスカー支部長は日本の事情に通ぜざればさて辭せられて、東副支部長新に支部長さならる。出席廿七名。

弘前支部

二月廿五日午前十一時より高谷支部長宅にて新年會を開く。禮拜後前回記錄、黑淵慈善課長古田會計課長の報告あり。支部長の「吾が家」さ題する有益なるお話あり。閉會後高谷姉の厚意による茶菓を頂き諸姉寄贈の菜菓を喫し愉快に過せり。來會者廿八名。

京都支部

二月廿日（土）當支部總會開催。榎本牧師の有益なる御講演後役員改撰を行へり。

若松支部

三月六日土曜日例會開催す川木基督教會にて。

司會川濱ルチ先づ禮拜を捧ぐ聖公會[illegible]牧師に講演お願す聖書ルカ六〇四三より終迄引照世界改造さ叫ぶ此時代矯風會の一員さして立てる事は偉大なる特權さ信ず故に先づ各自が徹底的心の改造をなし即ちクリストの精神に固着して個人にふれ「心の善き庫より善を出し」實現的矯風事業の發展を希ふさ深刻なる教訓を與へられ感謝さ希望に滿ち閉會す。出席者九名。

書記　川濱ルチ

大阪支部

大正九年三月廿日午後二時より婦人ホーム樓上に於て母の會を開く司會者釘宮夫人讚美を以て開會四三〇十八より以下朗讀引つゞき三人の祈禱あり。

島村醫師育兒上に必要なる講話を表を作り遺傳等より來る小供の死亡率など細かに說明され母の會さして最も適切なる講話なりき次に山岡春子夫人多年の經驗よりなれる育兒法には子供は母の鏡なりさの例を引き熱心なる感話あり一

同大に感じたり續て石肺夫人又矢島會長御出發の狀況ん委數報告され當時を追慕し一同三百九十二番の讃美歌を合唱す。

夫より最近歸朝されしプール師には歸省中の米國に於ける禁酒の狀況を語られ日本にても早く禁酒國となる爲に斷らざるべからずと天使の如き神々しき樣子にて熱心に獎勵し終へり。

四月二十五日午前十時支部樓上に於て、

常置委員會を開く會するもの拾四名林支部長謝句馬太傳二十八〇十九、二十節の朗讀次で各自神の祝福を祈るのち左の條々を協議せり即ち

一本部より會員五千人增加のことを申來りたれば我が支部にては五百名を標準として增加運動を爲すこと。

一五月六月の二ヶ月各所に小集會を開催して矯風會の主義主張を宣傳し且つ會員の充實をはかること。

一五月二十八日大會を開催すること辯士長尾半平君海老名先生の（交渉中）兩君を迎へて大集會を爲すこと公會堂に於て。

一六月二十五日母の會の催として山室先生を招じて盛なる集會を開くこと（公會堂）。

一六月二十六日少年大會を催すこと場所不明。

之等の三大集會の準備として先に記せし各所の小集會にて大に祈りまた報告につとめ之等の力ある小集會を合して一大集會とすること。

之等を協議して常置委員會を感謝のうちに終るホームの皆樣の御盡の晝飯をいたゞき懇談を共にし斯くて全く午前の集會は終る。

四月二十五日午後二時大會報告會

二の宮姉司會讃美五十六、清水姉聖書朗讀、成瀬姉會開の祈林支部長の會員增加運動充實のため各所に小集會をもようすこととまた前に記せし三大集會につきまた矢島會頭の今月今日誕生日なることとロンドンに於ける世界大會等につき懇ろに訓話ある、のち清水姉、成瀬姉、飯田姉、奥田姉、二の宮姉、增田姉（不在篠井姉かわりて）釘宮姉（不在成瀬姉かわりて）各報告また所感あり讃美歌三七五をうたひし二の宮姉の祈を以て閉會せり。

書記　成瀬非比子

富山支部

三月廿五日午後一時半よりアームストロング姉邸に例會を開く出席者十七名本日は第二回交換バザーを開く答なりしも松田名譽會員御結婚の爲差し支へ中止す。

議事、

一、女教員諸姉招待會の件　禁酒禁煙の實行につきては學校と家庭と一致協力する必要あり來月の例會に總曲輪、西田地方兩小學校の女教員御一同を招き懇談會を開く事に可決せり交渉方を古川水野兩姉に、本會の主意書印刷方を文書部に、當日の講話をアームストロング姉に御願ひす。

二、横濱に開かるべき大會の件　白石姉は令嬢御病氣に付代表者を辭されしため他に求めしも都合力かず已むなく今回は當支部より代表者を出さず、バザーに出品の稲來餅等は本部へ委托販賣の事に決す。

本日新入會員二名あり五時散會す。

四月二十二日午後一時半より例會を開く、出席者二十七名、古川姉司會にて禮拜の後記錄朗讀各部報告あり。

議事、

一、來る三十日舉行の招魂祭余興中藝妓手踊廢止請願の件は前回の申合せ通り風俗部にて實行する事、可決。

二、毎列車に禁煙車を設けられたき旨鐵道院へ請願を爲しては如何との提議あり次回迄保留す。

三、去一月の例會にて決議せし本部より有力者を招き講演會を開くの件に付甘粕姉より大阪支部長林歌子姉に御依賴しては如何との提議あり直に可決、櫛田より同姉の御都合を伺ふ事に決定。

四、かれて懸案となれるバザーをいよく來月

十二日メソヂスト敎會に開く事とし財務部役員の外星、本田の二姉を委員に御依賴し尙役員一同は及ぶ限り盡力する事に決定。

同日右例會に引き續き同二時半より總曲輪西田地方、星井の三小學校女敎員諸姉招待會を開く司會者古川姉、例會出席者の外女敎員十八名來會されたり。

有志諸姉の讃美歌に次ぎて白石姉の祈禱櫛田の挨拶あり、アームストロング、ビンセント二姉の熱心なる勸話の後、會員交々女敎員諸姉に希望する處あり茶菓を供し和氣靄々裡に四時半招客を送り會員有志は尙居殘りて諸種の協議を重ね六時散會せり。

櫛田千代子

芝支部

大正九年五月五日午後二時から三田大庭氏邸で其支部の例會を開きました。

出席者、大庭夫人、同令孃、同御母堂、根本さく、根本いよ子、原口ふさ、井深花子、伊藤さみ子、山本孝、鵜飼啓子、植木操、以上十一名でございました雨降りにもかゝはらす中々の盛會で深く感謝致しました。

一、井深花子姉司會の下に讃美歌廿六を歌つて會を開きました。

二、山本孝子姉の熱心なる祈禱がございました心から共にアメンを申しました。

三、司會者の聖書朗讀（馬太傳十六章廿一節より終まで）。

四、司會者が横濱大會へ代員として趣かれた時の報告及び感想。

五、決議事項、

イ、本部からの手紙により當支部は特別の事を爲さずに會員各々新會員二三名を募る事に決しました。

ロ、芝支部へ五錢袋七百を引き受ける事にきめました。

ハ、次回の例會は六月二日に開きます。

ニ、山本孝子姉が新に御入會なさいました御熱心な會員を得て感謝にたへません。

六、司會者祈禱。

七、讃美歌三百十七番。以上

終つて大庭夫人の暖かい御もてなしにあづかり興多く有益に會を閉ぢたのは約二時間半の後でありました。

芝支部書記

!!注　意!!

□支部の報告書は

1 成る可く原稿用紙に於いて頂くやう願ひます、字はどうぞ解り易く願ます。

2 毎月廿日迄に送つて下さいましたのは次月の號に記載いたします。

3 報告書は「婦人新報原稿」と朋書して頂きたうございます。

4 婦人新報の會計、及部數等についての事務は板倉梅子宛に願ます。

□電話　芝六八六〇番

今日迄の電話は矢島先生のものでございました、此度右の通り新加設致しました、御披露致します。

□□新刊紹介□□

「父」　久布白落實著

定價貳圓也

久布白夫人の筆については既に定評ある處、何も申ません。「父」は同姉の實父大久保眞次郎牧師の一生を綴つたもの、矢島會頭を初め當代基督敎會の當面の人物は皆動いて居ます。特に同姉が久布白牧師と結婚の一段はいかにも夫人が主張さるゝ處と一致して痛快なものです。いつも公娼全廢に就て諸姉に識らるゝ夫人の文學的半面を讀み得る書です、會員方の御一讀をおすゝめします。

a large number of prostitutes come. Among contributing causes were the low living conditions; the illiteracy of girls; the low moral status of the prevailing religion for a period of many years; the geographical position that made intercourse with the outer world easy. Silk culture as a means of livelihood was suggested, and the need of a vital faith in the saving power of the Lord Jesus Christ emphasized.

A request was sent to the World's W.C.T.U. to form an Oriental Committee that would unite the workers of the Far East in a combined persistent attack upon Licensed Prostitution that would drive it out from all its strongholds.

The membership fee of 3 sen a month was raised to 5 sen a month.

It was decided to send a secretary to take charge of the work in Kyushu.

In Japan itself an effort is being made through the Local Unions to find out the prevailing sentiment and conditions with regard to Temperance and Purity. It is desired to know the attitude of the churches, of the members of the Legislatures, of the newspapers, the number of prostitutes, the conditions in restaurants etc. The necessity for Rescue quarters in every Province was urged.

The need for Temperance instruction for children was emphasized. It was resolved to petition the Educational Department to more closely control the smoking and drinking among students in High Schools; also to petition the Government to abolish the manufacture and sale of tobacco.

The presence of Miss Tinling of America and of Miss Wong, W.C.T.U. representative workers en route from America to China, added greatly to the interest of the Convention. Miss Tinling is a specialist in Scientific Temperance Instruction and her lectures at the Conference and elsewhere specially helpful. Many orders were given for the Manuals she had written on the subject.

Miss Wong is a young Chinese lady, a graduate of an American College, who goes to China as a W.C.T.U. missionary.

A farewell was tendered to Miss Spencer, over 42 year in Japan as a missionary, and prominent in all Temperance activities. The earnest hope was expressed that she might return to Japan to spend the remaining years of her life among old friends.

The following officers were elected:—

President: Yajima Kaji.
Vice-President: Kozaki Chiyo.
Recording Secretary: Kubushiro Ochimi.
Corresponding Secretary: Moriya Azuma.
Treasurer: Asada Mikako.

The convention was altogether an inspring and helpful one.

What am I?

I am a far too common sight in the neighborhood of every high school.

I am small and innocent in appearance, but contain immense possibilities for working mischief.

I ruin many a football team. No coach will permit players to use me during the season, for I am sure death to wind, speed, and "pep."

I am responsible for innumerable failures in school, and for still more in after-life.

I can destroy a boy's ambition and will power, and put his brain to sleep.

At my best, I am a worthless thing to spend good money for. At my worst, I injure body, mind and morals.

The evil I do is incalculable. Still I flourish.

I am the student's worst enemy.

I am the cigaret.

JOHN ELSON, Cornell Univ.

FUJIN SHIMPO

The Psalm of the Helpers

The ways of the world are full of haste and turmoil:
I will sing of the tribe of helpers who travel in peace,
He that turneth from the road to rescue another,
Turneth toward his goal:
He shall arrive in due time by the footpath of mercy,
God will be his guide.
He that taketh up the burden of the fainting,
Lighteneth his own load:
The Almighty will put his arms underneath him,
He shall lean upon the Lord.
He that speaketh comfortable words to mourners
Healeth his own heart:
In his time of grief they will return to remembrance,
God will use them for balm.
He that careth for the sick and wounded
Watcheth not alone:
There are three in the darkness together,
And the third is the Lord.
Blessed is the way of the helpers,
The companions of Christ.
—From Out-of-Doors in the Holy Land, by Henry Van Dyke.

National W.C.T.U. Convention.

The Annual Convention of the National W.C.T.U. was held at the Woman's Union Bible School, Yokohama, April 5-7. Some 79 delegates were present, representing 65 Unions and 7 Circles, with a total membership of 3314, this not including the L.T.L. membership.

Three delegates went to the World's W.C.T.U. Convention taking place in London, England, in the month of April, one of these being Mrs. Yajima, the 88 year old veteran President of the Society. The large sum of Yen 12,000 ($6,000) was collected to defray the expenses of these delegates.

The reports of the departments were very interesting. The Superintendent of the Evangelistic Department urged the forming of Prayer Circles and the development of the Evangelistic spirit in every Union. The Home Department emphasized the need of a general reconstruction of the home as the true basis of all reform.

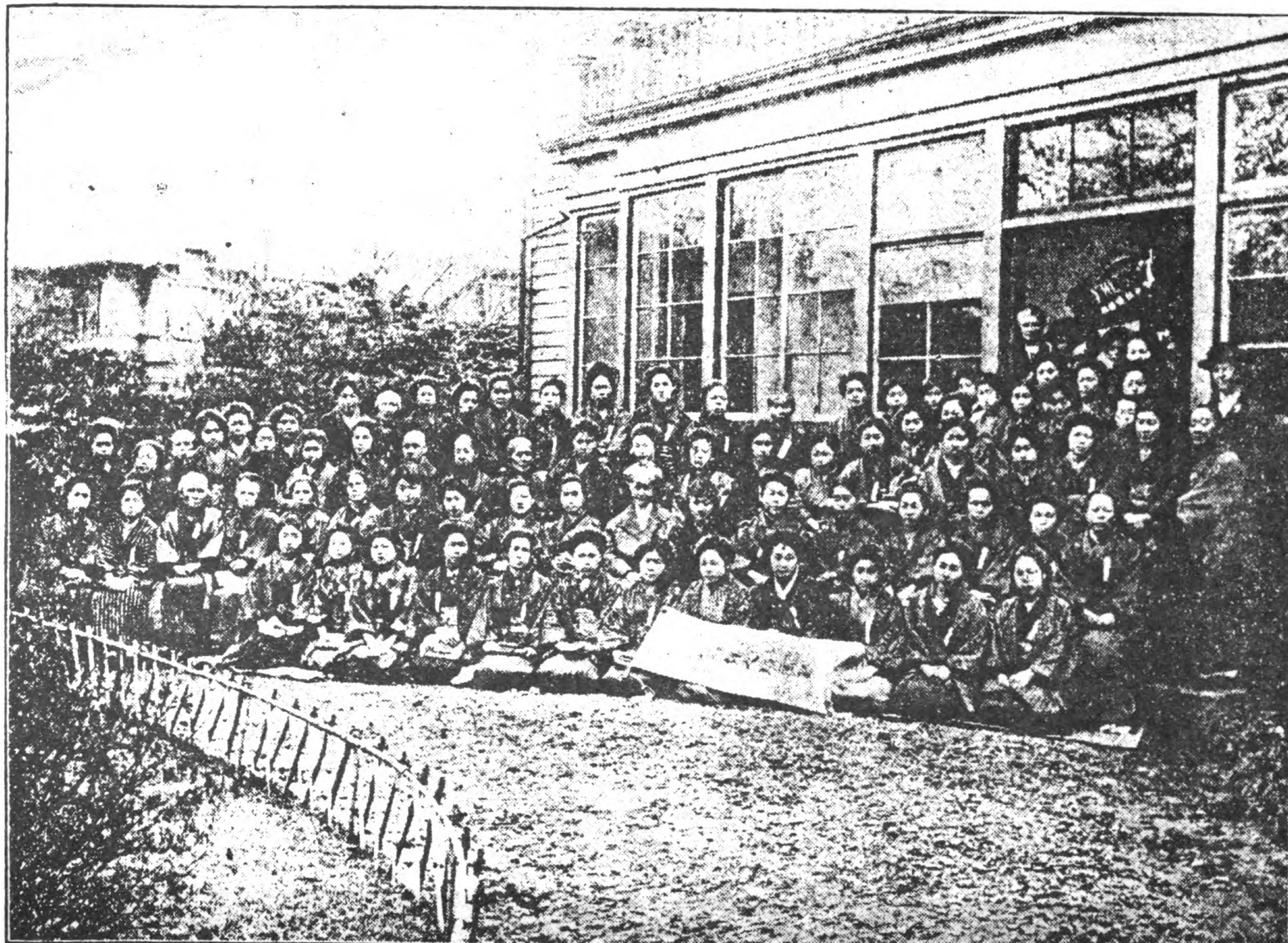
Nearly Yen 1000 ($800) had been gathered in the 5 sen envelopes for Purity work, and Yen 848.64 ($424.32) in fees.

The Tokyo Foreign Circle collected a large sum of money through the year for its Community Centre, the Kobo Kwan; after meeting various expenses there was still a balance on hand of nearly Yen 13,000 ($6,500), a nucleus towards a building fund.

The Jiai Kwan, the Kescue Home in Tokyo, reported a successful year of work.

The national W.C.T.U. has two official publications, the "Fujin Shimpo" for women, and the "Shonen Shimpo" for children: and both of these had a successful year. The "Fujin Shimpo" was raised in price from 10 sen a month to 15.

A Committee of nine, three representatives each of the National W.C.T.U. and its Foreign Auxiliary, with three Japanese gentlemen, was organized for more definite effort in the fight against Licensed Prostitution. This Committee meets once a month and one of its number had made a close investigation of conditions in the Amakusa-Shimohara district, whence



第廿八回婦人矯風會大會(横濱共立女子神學校講堂に於て)

婦人新報第二百七十三號
（第三種郵便物認可 明治四十五年六月廿五日）（毎月一回發行 大正九年五月十五日發行）
【本誌一部定價金十五錢】